

平成19年度 事務事業評価表		担当	監査事務局			内線等	1442
事務事業名	監査委員活動事業				事業コード	2・内部管理事務事業	
根拠法令等	地方自治法 蒲郡市監査委員に関する条例				A法令	B条例	

総合計画での位置付け

基本目標	7. その他	施策名	その他
------	--------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理を
手 段	監査委員制度を維持・運用することによって
想定する成果	事務事業全般の合理化、適正化、効率化に努める。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
監査委員数	3人	3人	3人
監査委員協議会開催数	14回	20回	-
監査委員協議会議題数	36件	43件	-
総会・研修会数	6回	6回	6回

成果指標

成果指標名	監査委員協議会議題数（1回当り）	総会・研修会延べ参加者数
成果指標の説明	監査委員協議会議題数 / 監査委員協議会開催数	監査委員の資質向上のため総会・研修会に参加した延べ人数

事業の進捗状況（ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		2.6件				2.2件				-			
成果指標		13人				14人				-			
事業費	事業費	1,243				1,177				1,178			
	人件費	7,006				4,686				4,707			
	(人数)	正規	0.9	非常勤		正規	0.6	非常勤		正規	0.6	非常勤	
	合計	8,249				5,863				5,885			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	8,249				5,863				5,885			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	-	-	監査委員の職務執行に関することは、監査委員協議会において協議、調整をしている。
経済効率性	2	2	-	-	総会・研修会の開催地が遠方の場合が多い。
事務効率性	3	3	-	-	
必要性	-	3	-	-	内部管理事務事業
小計	8	11	0	0	
施策への貢献度	-	-	-	-	施策名が「その他」
合計	8	11	0	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	-	-	地方自治法に基づく監査委員制度のため、今後とも継続する必要がある。
------	---	---	---	---	-----------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
社会情勢の変化に対応したより密度の濃い監査等が求められており、実効性のある適切な監査等を目指して、更なる監査委員・事務局職員の専門的知識の育成が重要である。
上記改善点の実施状況
予算の許す限り、積極的に研修会等に参加し、専門的知識の育成に努めている。

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

